

栃木県建設業協会が100周年！



社会に貢献する地域の基幹産業として 新たな歴史を紡ぐ第一歩

一般社団法人栃木県建設業協会は大正12年1月に「栃木県土木建築請負業組合」として結成され、現在までに昭和23年に「栃木県土木建築業組合」、昭和32年に「社団法人栃木県建設業協会」、平成3年に「一般社団法人栃木県建設業協会」と改編を繰り返してきました。

その間、栃木県の社会資本整備はもとより、除雪や災害対策など「地域の守り手」として、安全・安心なまちづくりを進めてきた地域に必要な存在として貢献してきましたが、本年度で創立100周年を迎えることとなりました。栃木県建設業協会では100周年の節目の年を契機とし、今日の繁栄を築いてきた先人たちの努力に思いをはせ、社会に貢献する地域の基幹産業としての誇りと自負をもって、新たな100年の第一歩を踏み出すために各種事業を予定しています。なお令和4年6月30日現在の加盟会員数は348社となっております。

歴代会長



式典

令和4年11月11日(金)午後10時にホテル東日本宇都宮において記念式典を開催することとし、100周年記念事業実行委員会が準備しております。記念式典は、記念講演会、式典、祝賀会の三部構成で、講演会には各方面の著名な方の中から講師をお願いいたします。

式典は、ご来賓をお招きし、当協会100周年の重みを振り返りながら、向後も社会的使命を果たしていく覚悟をお誓いしたいと思います。

なお、祝賀会はアトラクションと音楽などを交え、思い出に残るくつろぎのひとときをお過ごしいただけるよう企画中です。

新たな世紀の始まり！

フォトコンテスト



できるだけ多くの方に「地域の守り手」「地域の創り手」として100年間活動してきた当協会を知ってもらうため、老若男女誰もが参加できるフォトコンテストを企画しました。SNSのInstagramを活用することで、県内外、そして本県を訪れた海外の観光客も気軽に応募できるようにしました。若い人たちに建設業界に少しでも興味・関心を持ってもらえるよう、応募期間を春、夏、秋と三季に分け長くとり、当選者もそれぞれ一季で計50名に当たる魅力のある賞品としました。

事業周知については、地元栃木で有名なインスタグラマーを起用して、県域FM放送での応募の呼びかけを行っております。

また、ポスター1,500枚、チラシ2万枚を製作して、観光バス座席背面への配架やインターンシップ実施予定高校への配布などで周知を図っています。

主催：一般社団法人 栃木県建設業協会

お問い合わせ先 栃木県建設業協会 100周年記念事業「フォトコンテスト」事務局
 電話：0285-55-2003
 メール：info@tochiken-photo2022.com
 URL：https://tochiken-photo2022.com

Instagram @tochiken_100th 栃木県建設業協会
 フォトコンテスト特設サイト

とちけん100周年 フォトコンテスト 検索

100周年記念の協会シンボルマーク

100周年を記念し、協会シンボルマークを制定することとしデザイナーと数回の打ち合わせを重ね、斬新かつ意味深いマークが完成する見通しです。

また、記念式典までには会員徽章と協会旗を作成し、式典当日に開被する予定です。シンボルマーク制定と併せて、100周年を記念し足場シートと現場仮囲いにペイントするデザインを考案し、次のとおり図案が決定いたしました。

足場シートを制作して、今後頒布する予定です。



記念誌発行

当協会の100年の歴史を収録する記念誌(100年史)については、50年史、80年史をベースに、本県における建設業にかかる偉人の業績や史実を留め、社会情勢の解説を加え、写真を多用して記念誌としてばかりでなく本県の建設史として重用される書を目指して編集中です。

11月11日の式典の様子が収録するため、記念誌の発刊は令和5年3月の見込みです。

建フェスGO

- 目的**
- ①子どもたちに「建設業」の楽しさ・重要性・意義などを理解してもらい、将来の職業選択に建設業を加えてもらう
 - ②子どもたちの保護者に対し、「建設業」の良いイメージをもってもらう
 - ③建設業関係者の子どもたちに親の仕事としての「建設業」に興味をもってもらう
 - ④イベント関係者同士が互いのコミュニケーションを増やし、問題を共有する

コンセプト 職業体験をメインとしたユーモアのあるイベント企画で来場者及び関係者すべてを笑顔にする!!

実施日 2022年11月27日(日)

会場 道場宿緑地

主な対象者 栃木県内の小学生(1年生から6年生)とその保護者